

第 81 回大分県発明くふう展
作 品 説 明 書

記入不要

【作品名】

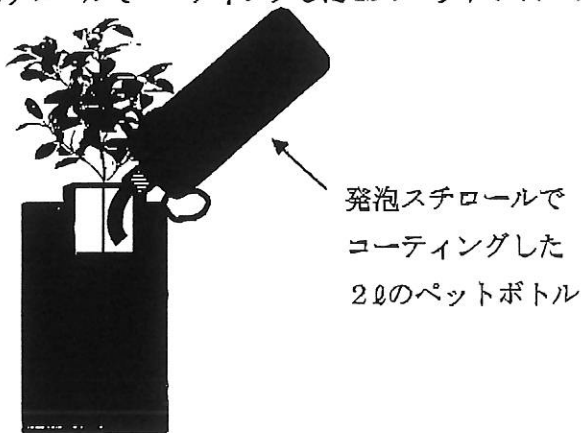
真夏日におけるお墓の花立ての水切れをなくそう！

【発明のポイント】(発明のきっかけ、特徴、くふうした点、苦勞した点など)

月に一度はご先祖のお墓掃除に行くようにしていますが、今年のように真夏日が続くと花立ての水があつという間に減って(水温も上がる)せっかく上げたお花も水切れで枯れてしまう。そこで、水が減ったら自動で補給する方法はないかと考えていたら 20のペットボトルの蓋にホースをつけ水を入れ花立てに差し込む事を考えつきました。しかし、この炎天下ペットボトルの水温も 40 度以上に上がる事が分かったので1度の失敗もありましたがペットボトルを発泡スチロールでコーティングして外気温の影響をなるべく受けないようにする事に成功しました。これにより自動で水は補給出来るし、水温も冷たい水が補給されるので下がり花立ての花も長持ちすると確信しています！

【使い方・説明図】(絵や写真などを使用してもかまいませんので使い方をわかりやすく説明してください。)

◎発泡スチロールでコーティングした 20のペットボトルの蓋にホースをつけ水を入れ花立てに差し込む。



これで月に1度水が減ってないか墓掃除の時に点検補充すれば水切れはおきません！

学校名	(年)	氏名	薬 真 手 哲 行
学校名	(年)	氏名	
学校名	(年)	氏名	

※ 「作品説明書」は「応募用紙」と併せて大分県発明協会事務局へ郵送または FAX にて提出ください。
 ※ 植物・動物・食品等の持ち込みが必要となる作品の出品はできません。